

		<p>利用した場合や、福祉用具の運搬並びに住宅改修時に要するフェリーの自動車航走運賃は、事業者あるいは利用者の負担となっており、厳しい現状にあるため、これに対して補助する考えはないか。</p> <p>エ 離島地域への定住・移住策として、福祉の充実も重要であると考えるが、福祉に関係する事業者等が市と語れる場があるのか、ない場合はつくる必要がないか。</p> <p>3 ひきこもり支援について</p> <p>(1) ひきこもりはその生活の実態から、相談に出向くなどその一歩を踏み出すことが難しいと考えるが、市はどのような体制や内容で支援を行っているのか伺う。</p> <p>(2) 支援を受けている方がどのようにになっていくことが市としての目標なのか、また、現状をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(3) 医療や福祉の基準に当てはまらない、いわゆるグレーゾーンの方への対応を伺う。</p> <p>(4) ひきこもり支援の輪を今後ますます広めていく必要があると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談や支援に関する窓口や体制を増やすため、民間支援団体との連携あるいは運営補助や活動拠点整備の補助等は考えられないか。 <p>4 大分市佐賀関の大規模火災を教訓として</p> <p>(1) 本市においても消防車両が侵入できない狭い路地は存在するが、そのような場所で火災が発生したときの現在の対応を伺う。</p> <p>(2) 火事は初期消火が大事とされているが、各世帯における消火器や火災警報器の設置に加えて、狭い路地の場所は誰でも使用することができる地上式消火栓の設置が効果的ではないかと考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>5 耕畜連携強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自給率が低い粗飼料の中でも稲わらについては、特に身近なものとして耕作者と連携して確保に取り組むことができると考えているが、本市もこのような動きに対して積極的に補助するなど、支えていく必要があるのではないか。
13	井上勝博	<p>1 AIデータセンターの影響調査と住民説明について</p> <p>(1) 350メガワットという市内では前例のない大規模電力消費が、地域全体の電力需給・電気料金へ与える影響を、市としてどのように評価しているのか。</p> <p>(2) 冷却排熱の大規模発生に伴う気温上昇や騒音など周辺環境への影響について、市は科学的調査を行う方針があるか。</p> <p>(3) 大型サーバー機器の搬入による川内港や市道の交通等の負荷と、安全対策の必要性を市はどのように判断しているのか。</p> <p>(4) 350メガワット規模のデータセンターが災害時に及ぼし得るリスクについて、市は防災上の観点から独自評価を行っているか。</p> <p>(5) 「調査中」との答弁を繰り返すのではなく、市として住民説明会を開催し、影響評価・懸念点・市の考え方を住民に説明する考えはあるか。</p> <p>(6) サーキュラーパーク九州は「低炭素型産業」「循環型資源利用」「地域に負荷をかけないモデル地区」として整備されてきたと理解している。</p> <p>ア 350メガワット規模のデータセンターは、同地区の理念と整合していると市は判断しているのか。</p> <p>イ 排熱・CO2負荷・電力需要の急増が、循環型経済の推進に与える影響を市独自で評価したのか。</p>

		<p>ウ 地域の環境負荷を最小化する仕組みを事業者を求める考えがあるか。</p> <p>2 使用済燃料乾式貯蔵施設の安全性と住民説明体制について</p> <p>(1) 乾式貯蔵容器の耐震性・除熱性能・金属ガasketの安全性について、市が九州電力から受けた説明内容を具体的に示されたい。</p> <p>(2) 「国が責任を持つべき」という答弁で市が判断を回避しているように見えるが、市として住民の安全にどのように責任を持っているのか。</p> <p>(3) 全国的に乾式貯蔵が長期化している事例を踏まえ、実質的な恒久化の懸念について市としての見解を問う。</p> <p>(4) 地震・津波・船舶事故など複合災害への対応については、市は九州電力・国へ具体的確認を行ったのか。</p> <p>(5) 市として、九州電力・原子力規制委員会・経済産業省に対し、市民だけでなく県内誰でも参加できる住民説明会の開催を正式に要請する考えはあるか。</p> <p>3 介護事業者の経営実態と市独自支援について</p> <p>(1) 市内事業者の経営実態を把握するため、市はアンケート調査・ヒアリングを実施しているか。</p> <p>(2) 訪問介護・通所介護など地域生活を支える事業の撤退リスクを、市はどう分析しているか。</p> <p>(3) 事業者から要望の多い「外国人介護人材の受入環境整備」について、市として日本語教育支援、相談窓口、住居支援等の支援を行う考えはあるか。</p> <p>(4) 経営悪化に直面する事業者への市独自の家賃補助・光熱費補助・設備投資支援について検討しているか。</p> <p>(5) 介護職員確保のための研修費補助・資格取得支援など、人材定着のための市独自策の必要性について市の見解を問う。</p> <p>4 イノシシ対策の強化について</p> <p>(1) 市として、地区ごとの出没状況・個体数推定・移動経路を把握しているのか。</p> <p>(2) 「地域ごとの生息密度把握とマップ化」を行い、集中的な対策ができないか。</p> <p>(3) 捕獲従事者の高齢化に対応し、若手育成・免許取得補助の強化、ICTを用いた捕獲連絡の迅速化を進める考えはあるか。</p> <p>(4) イノシシ専用の「二段電気柵」などの効果的対策を市が積極的に導入・補助できないか。</p> <p>(5) 竹林・耕作放棄地がイノシシの生息地となっているが、ならないための対策は</p> <p>(6) 捕獲依頼から実際の捕獲までに時間がかかる原因の一つに、市、猟友会、捕獲員という連絡の遅さがあると農家から指摘されている。位置情報共有アプリ、LINE通報、捕獲員グループ通知等のICTを活用した迅速な捕獲連絡システムの導入を検討できないか。</p>
14	宮里兼実	<p>1 災害が発生した場合の応急仮設住宅建設候補地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気・水道の供給や各法令等を踏まえ、現実的に建設可能な候補地は、地域ごとにいくつ把握しているか伺う。 <p>2 市営住宅等の指定管理者の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の老朽化に伴い、今後も維持・修繕が早期必要な案件や政策空家

		<p>等が増加すると思われる。滞りなく行うために指定管理者側への市の管理方針を伺う。</p> <p>3 道路上に伸びた樹木について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 道路にはみ出した樹木の枝が原因で通行の妨げや事故の危険性が生じている事例について、市はどのような認識を持っているか。
--	--	--